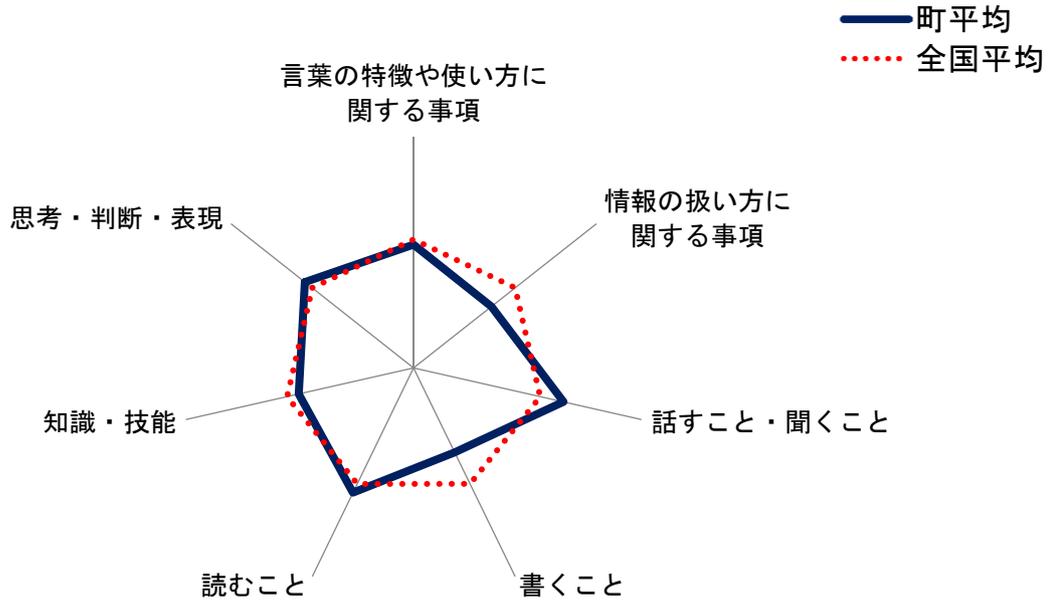
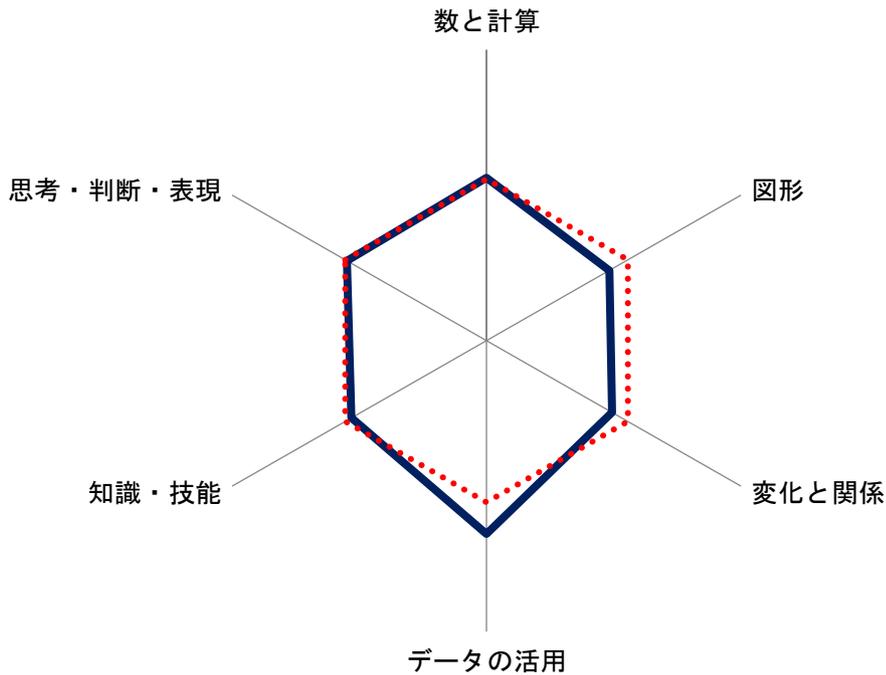


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

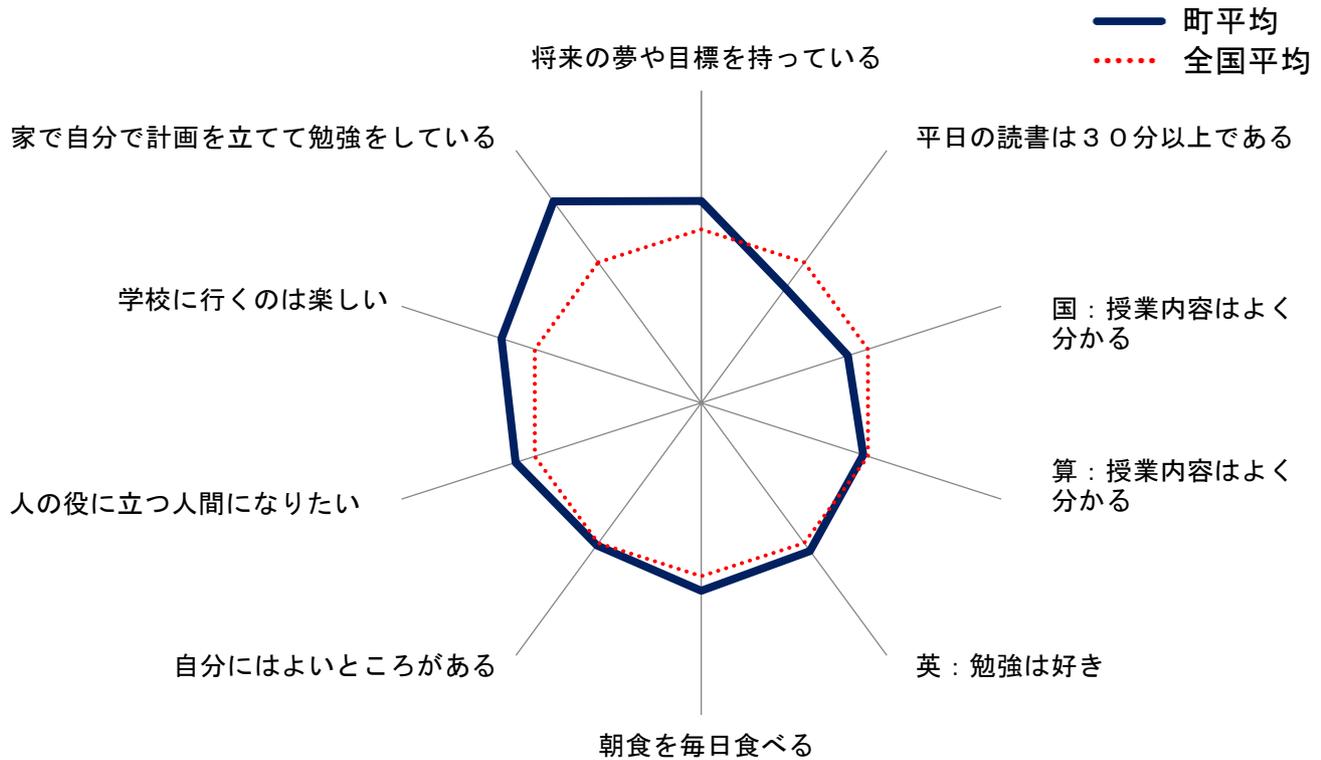
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「話すこと・聞くこと」、算数の「データの活用」の項目が全国平均を大きく上回っているが、国語の「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」の項目が全国平均を大きく下回っており、基礎的な知識及び技能の定着と読解力に課題が見られる。今後は、これまで培われてきた愛媛教育のよさと適切なICTによる教育を効果的に組み合わせることで、より質の高い授業改善に取り組み、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成や読解力の向上が望まれる。

児童質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っている」「学校に行くのは楽しい」「家で自分で計画を立てて勉強をしている」などの項目が前回調査に比べて改善されており、キャリア教育と魅力ある学校づくりが推進されていることがうかがえる。一方、「平日の読書は30分以上である」、国語の「授業内容はよく分かる」の項目が依然として全国平均を下回っている。今後は、読書活動の充実に向けた取組と、児童にとって「分かる、できる」を実感できる授業となるよう、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善をより一層推進することが望まれる。